工業簿記２級講座　　# チェック　３３１

（問　　題）

問　題（20点）

次の資料にもとづいて、答案用紙の各勘定を完成しなさい。ただし、当社では製造間接費を実際配布している。

〔資　料〕

（単位：千円）

１．棚卸資産	月初有高	当月仕入高	月末有高
素材（消費額はすべて直接材料費）	180,000	1,100,000	200,000
補助材料	13,700	135,000	14,200
仕掛品	87,000	―――	81,000
製品	150,000	―――	300,000

２．賃金	前月未払高	当月支払高	当月未払高
直接工（消費額はすべて直接労務費）	10,450	100,000	12,000
間接工	4,990	35,000	5,040

３．工場建物の減価償却費	280,500	４．広告費	230,000
５．消耗工具器具備品費	50,000	６．本社役員給与手当	342,000
７．販売員給与手当	75,000	８．工場機械の減価償却費	252,000
９．工場の固定資産税	10,400	11．本社建物の減価償却費	155,000
11．その他の販売費	5,000	12．その他の一般管理費	3,000

出所：105回（平成15年11月）第４問

工業簿記２級講座　　# チェック　３３１

氏名　　（解答用紙）

得点	／20

（単位：千円）

仕　掛　品

月初有高	( )	当月完成高	( )
直接材料費	( )	月末有高	( )
直接労務費	( )		
製造間接費	( )		

製　品

月初有高	( )	売上原価	( )
当月完成高	( )	月末有高	( )

損　益

売上原価	( )	売上	2,940,000
販売費	( )		
一般管理費	( )		
( )	( )		

工業簿記２級講座　　# チェック　３３１

（解答解説）　　４点

（単位：千円）

仕　掛　品

月初有高	87,000	当月完成高	1,950,000
直接材料費	1,080,000	月末有高	81,000
直接労務費	101,550		
製造間接費	762,450		
	2,031,000		2,031,000

製　品

月初有高	150,000	売上原価	1,800,000
当月完成高	1,950,000	月末有高	300,000
	2,100,000		2,100,000

損　益

売上原価	1,800,000	売上	2,940,000
販売費	310,000		
一般管理費	500,000		
（営業利益）	330,000		
	2,940,000		2,940,000

１．仕掛品勘定の記入

（１）材料費の計算

直接材料費＝素材費＝180,000＋1,100,000－200,000＝1,080,000

間接材料費＝補助材料費＋消耗工具器具備品費

＝(13,700＋135,000－14,200)＋50,000＝184,500

（２）労務費の計算

直接労務費＝直接工賃金＝100,000－10,450＋12,000＝101,550

間接労務費＝間接工賃金＝35,000－4,990＋5,040＝35,050

（３）経費の計算

間接経費＝工場建物の減価償却費＋工場機械の減価償却費＋工場の固定資産税

＝280,500＋252,000＋10,400＝542,900

（４）製造間接費の集計

製造間接費＝間接材料費＋間接労務費＋間接経費

＝184,500＋35,050＋542,900＝762,450

（５）当月完成高の計算

当月完成高＝月初有高＋直接材料費＋直接労務費＋製造間接費－月末有高

＝87,000＋1,080,000＋101,550＋762,450－81,000＝1,950,000

２．製品勘定の記入

売上原価の計算

売上原価＝月初有高＋当月完成高－月末有高

＝150,000＋1,950,000－300,000＝1,800,000

３．損益勘定の記入

（１）販売費の集計

販売費＝広告費＋販売員給与手当＋その他の販売費

＝230,000＋75,000＋5,000＝310,000

（２）一般管理費の集計

一般管理費＝本社役員給与手当＋本社建物の減価償却費＋その他の一般管理費

＝342,000＋155,000＋3,000＝500,000

（３）営業利益の計算

営業利益＝売上高－(売上原価＋販売費＋一般管理費)

＝2,940,000－(1,800,000＋310,000＋500,000)＝330,000

工業簿記２級講座　　**チェック　３３２**

（問　　題）

問　題　次の資料にもとづいて。Ｚ工業の１月の製造原価報告書および損益計算書を完成しなさい。(20 点)

〔資料〕

１．棚卸資産有高　　（単位：円）

	月初有高	月末有高
素　　材	2,840,000	2,920,000
部　　品	1,920,000	1,780,000
補 修 材	318,000	339,000
仕 掛 品	4,286,000	4,412,000
製　　品	2,416,000	2,524,000

２．直接工の作業時間および賃率

直接工の総就業時間の内訳は、直接作業時間3,780時間、間接作業時間266時間、手待時間18時間であった。なお、賃金計算では、平均賃率である１時間当たり1,200円を適用している。

３．１月中の支払高等　　（単位：円）

素材仕入高	6,320,000
部品仕入高	2,380,000
補修材仕入高	428,000
接着剤購入額	24,000
間接工賃金当月支払高	840,000
間接工賃金前月未払高	160,000
間接工賃金当月未払高	140,000
電力料金（測定額）	195,000
保険料（月割額）	410,000
減価償却費（月割額）	1,850,000
水道料金（測定額）	123,000

４．製造間接費は直接労務費の90％を予定配賦している。なお、配賦差異は売上原価に賦課する

工業簿記２級講座　**チェック　３３２**

得点	／20

氏名　　（解答用紙）

製造原価報告書　（単位：円）

Ⅰ 直接材料費		
月初棚卸高	( )	
当月仕入高	( )	
合計	( )	
月末棚卸高	( )	( )
Ⅱ 直接労務費		( )
Ⅲ 製造間接費		
間接材料費	( )	
間接労務費	( )	
電力料金	( )	
保険料	( )	
減価償却費	( )	
水道料金	( )	
合計	( )	
製造間接費配賦差異	( )	( )
当月製造費用		( )
月初仕掛品原価		( )
合計		( )
月末仕掛品原価		( )
当月製品製造原価		( )

損益計算書　（単位：円）

Ⅰ 売上高		42,580,000
Ⅱ 売上原価		
月初製品有高	( )	
当月製品製造原価	( )	
合計	( )	
月末製品有高	( )	
原価差異	( )	( )
売上総利益		( )

（以下略）

工業簿記２級講座　**チェック　３３２**

（解答・解説１）　　２点

製造原価報告書　　（単位：円）

Ⅰ 直接材料費			
月初棚卸高	(4,760,000)		
当月仕入高	(8,700,000)		
合計	(13,460,000)		
月末棚卸高	(4,700,000)	(8,760,000)	
Ⅱ 直接労務費		(4,536,000)	
Ⅲ 製造間接費			
間接材料費	(431,000)		
間接労務費	(1,160,800)		
電力料金	(195,000)		
保険料	(410,000)		
減価償却費	(1,850,000)		
水道料金	(123,000)		
合計	(4,169,800)		
製造間接費配賦差異	(87,400)	(4,082,400)	
当月製造費用		(17,378,400)	
月初仕掛品原価		(4,286,000)	
合計		(21,664,400)	
月末仕掛品原価		(4,412,000)	
当月製品製造原価		(17,252,400)	

損益計算書　　（単位：円）

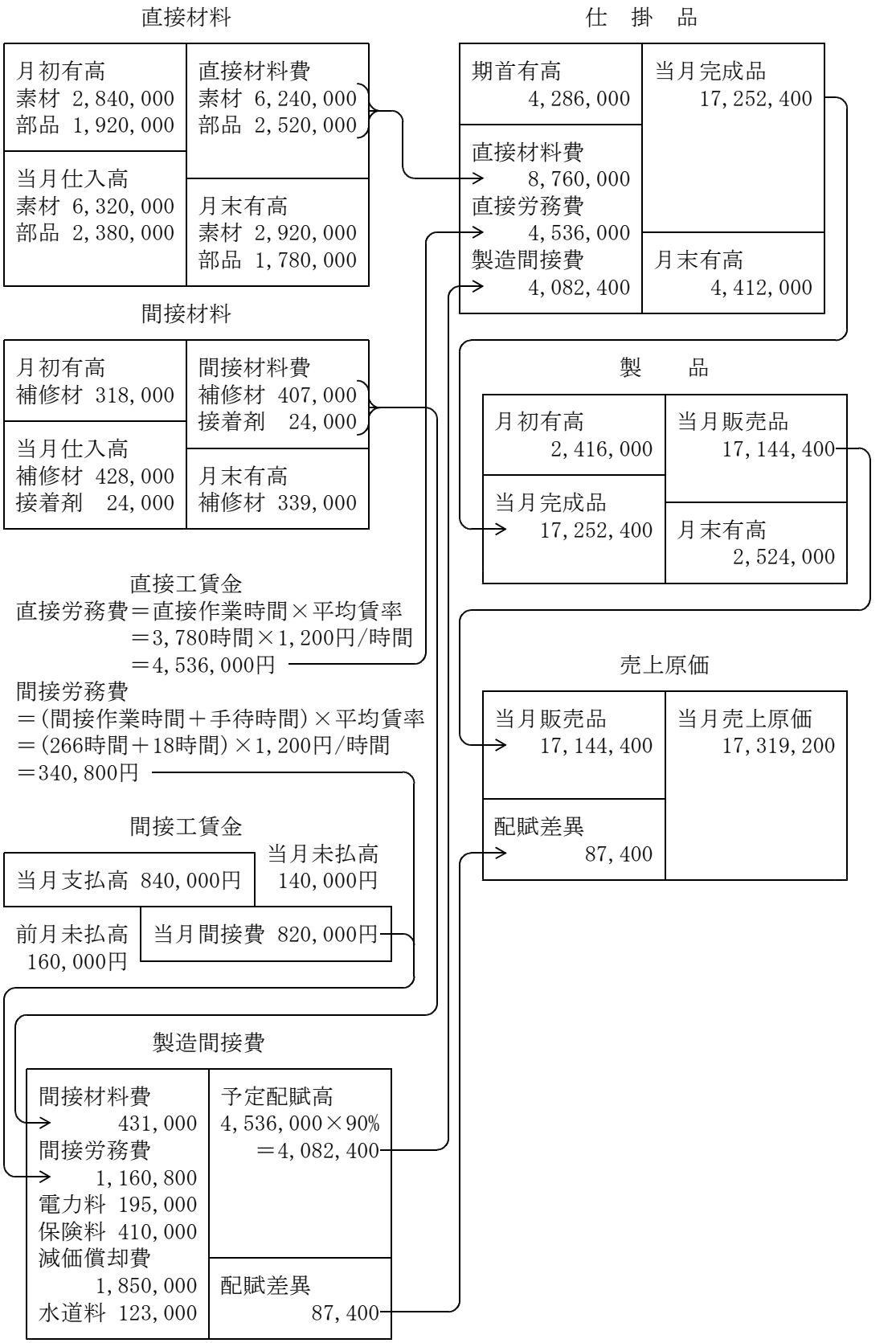
Ⅰ 売上高			42,580,000
Ⅱ 売上原価			
月初製品有高	(2,416,000)		
当月製品製造原価	(17,252,400)		
合計	(19,668,400)		
月末製品有高	(2,524,000)		
原価差異	(87,400)	(17,231,800)	
売上総利益		(25,348,200)	

（以下略）

出所：134 回（平成 2013 年 6 月）第 4 問

工業簿記２級講座　　**チェック　３３２**

（解　説　2）



工業簿記２級講座　　# チェック ３３３

得点	／20

氏名　　（問題・答案用紙）

問　題　Ｘ社の資料にもとづき、同社の仕掛品勘定および損益計算書を作成しなさい。ただし、製造間接費の予定配賦から生ずる原価差異は、売上原価に課するものとする。

〔資　料〕　（単位：万円）

１．直接工賃金支払高	1,500	８．工場減価償却費	350
２．直接工賃金期首未払高	13	９．工場電力料･ガス代･水道料	214
３．直接工賃金期末未払高	14	10．製造間接費予定配賦額	1,000
４．製造関係の事務職員給料 当期要支払額	175	11．売上高	8,500
５．工場倉庫係の賃金 当期要支払額	154	12．販売費および一般管理費	1,600
６．直接材料当期仕入高	3,700	13．直接材料期首有高	250
７．製造用切削油などの当期消費額	7	14．直接材料期末有高	290

仕　掛　品　（単位：万円）

期首有高	500	（　　）（　　）	
直接材料費	（　　）	期末有高	750
直接労務費	（　　）		
製造間接費	（　　）		
	（　　）		（　　）

損益計算書　（単位：万円）

（　　）		（　　）
（　　）		
期首製品有高	800	
（　　）	（　　）	
合　計	（　　）	
期末製品有高	711	
差　引	（　　）	
原価差異	（□　　）	（　　）
売上総利益		（　　）
販売費及び一般管理費		（　　）
営業利益		（　　）

（注）原価差異については、差引欄で算出した売上原価に対し加算するなら＋、売上原価から控除するならーの記号を □ 内に記入しなさい。

工業簿記２級講座　　# チェック ３３３

（解答解説１）　　２点

問　題　Ｘ社の資料にもとづき、同社の仕掛品勘定および損益計算書を作成しなさい。ただし、製造間接費の予定配賦から生ずる原価差異は、売上原価に課するものとする。

〔資　料〕　（単位：万円）

１．直接工賃金支払高	1,500	８．工場減価償却費	350
２．直接工賃金期首未払高	13	９．工場電力料･ガス代･水道料	214
３．直接工賃金期末未払高	14	10．製造間接費予定配賦額	1,000
４．製造関係の事務職員給料 当期要支払額	175	11．売上高	8,500
５．工場倉庫係の賃金 当期要支払額	154	12．販売費および一般管理費	1,600
６．直接材料当期仕入高	3,700	13．直接材料期首有高	250
７．製造用切削油などの当期消費額	7	14．直接材料期末有高	290

仕　掛　品　（単位：万円）

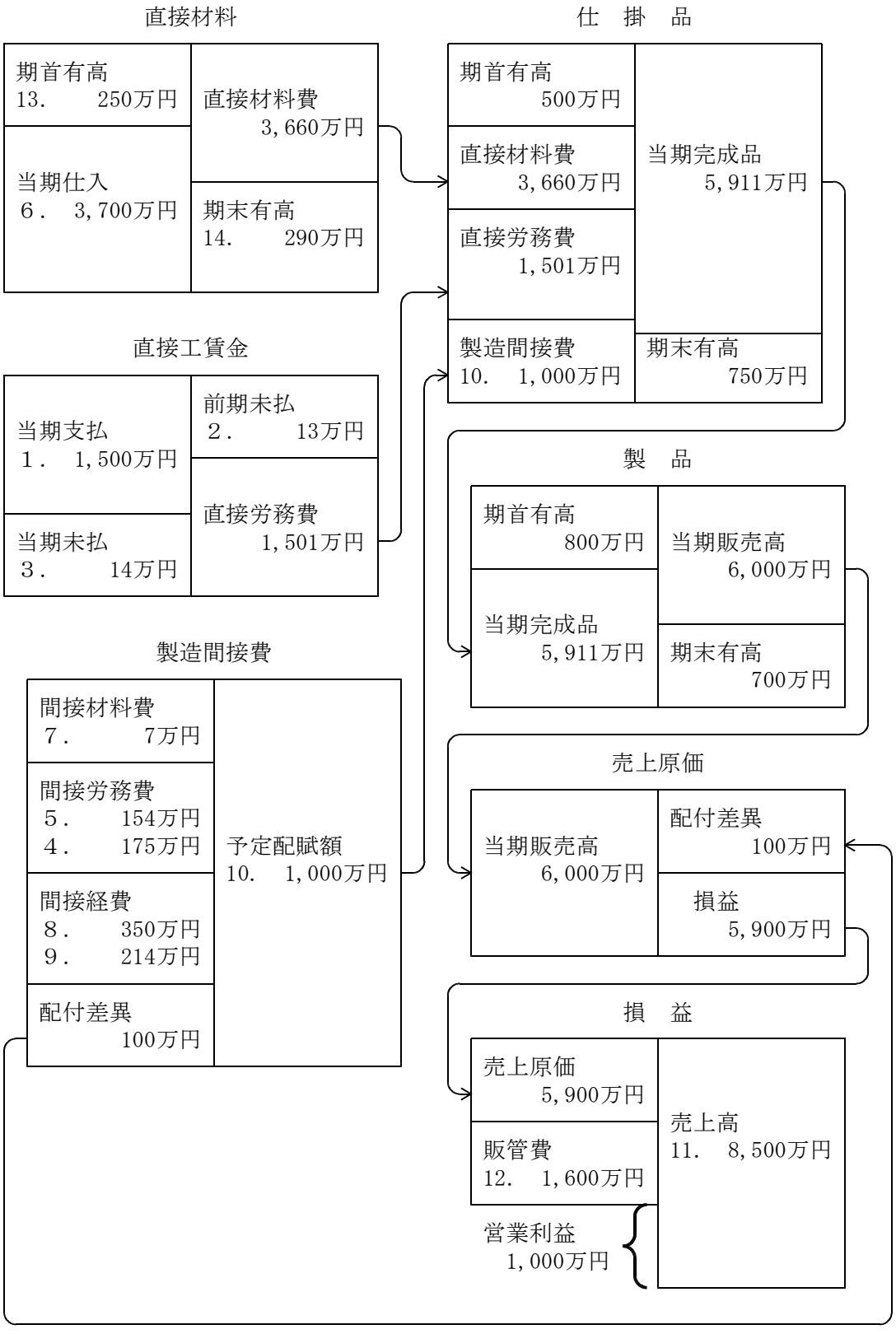
期首有高	500	（製　品）	（ 5,911 ）
直接材料費	（ 3,660 ）	期末有高	750
直接労務費	（ 1,501 ）		
製造間接費	（ 1,000 ）		
	（ 6,661 ）		（ 6,661 ）

損益計算書　（単位：万円）

（売上高）		（ 8,500 ）
（売上原価）		
期首製品有高	800	
（当期製品製造原価）	（ 5,911 ）	
合計	（ 6,711 ）	
期末製品有高	711	
差引	（ 6,000 ）	
原価差異	（－ 100 ）	（ 5,900 ）
売上総利益		（ 2,600 ）
販売費及び一般管理費		（ 1,600 ）
営業利益		（ 1,000 ）

（注）原価差異については、差引欄で算出した売上原価に対し加算するなら＋、売上原価から控除するならーの記号を □ 内に記入しなさい。

出所：115 回（平成 19 年２月）第４問

工業簿記２級講座　　**チェック　３３３**

（解答解説２）